

画面設計書の作成

作成日: 2015/06/30

作成者: 西村

更新履歴

更新日	更新概要	作業者
2015/06/30	・ 新規作成 (仮)	西村
2015/11/09	・ 「部品の種類」にカラーピッカーとグラフを追加。コンボボックスの HTML の説明の追加。	西村
2017/12/01	・ 公開用の体裁調整	西村
	・	
	・	

目次

更新履歴	1
画面設計書の目的	3
必要な内容	3
画面一覧	4
必要な内容	4
画面遷移	5
画面レイアウト.....	6
入力パラメータ	7
必要な内容	7
項目定義	8
必要な内容	8
部品の種類	9
(参考) 部品指定と実際に使用する部品の一般的な対応付け	10
形式の例	11
動作定義	12
必要な内容	12
動作の種類別の例	12
処理定義	13
必要な内容	13

画面設計書の目的

画面設計書の目的は下記の通りです。

- ・ お客様にどのような画面を作るか明確にし、意思疎通を図る
※お客様の担当の方が IT 知識に精通していない (非 IT 業界、情報システム部門がない等) 場合、画面設計書だけをベースに話をしようとしても上手くいかないことが多いです。
(そのような場合はできるだけ 仮の画面=モックアップ を早く用意して合意を取るほうがよいです)
- ・ 画面を作成するスタッフ(PG)にどのような画面を作ってほしいかを明確にする
- ・ 後から参加したスタッフ(運用スタッフ等)にもどのような画面が作られているかわかるようにする

必要な内容

画面設計書に必要な内容はおおむね下記の通りです。

時間、規模によっては一部のみ作成する場合も多いです。

名称	作る単位	目的
画面一覧(表)	システム毎	どのような画面を作らないといけないかを明確にします。
画面遷移(図)	システム毎	画面間をどのように移動できるかを明確にします。
画面レイアウト(図)	画面毎	どのような見た目の画面を作る必要があるかを明確にします。
入力パラメータ	画面毎	この画面が受け取る入力パラメータを明確にします。
項目定義	画面毎	画面にどのような部品が必要か明確にします。
動作定義	画面毎	部品が操作された時にどのように動かないといけないかを明確にします。
処理定義	画面毎	どのような処理が必要か明確にします。

- ・ 他社指定のフォーマットがある場合は他社のフォーマットに従って下さい。
- ・ 画面一覧、画面遷移は別ファイルに分けることが多いと思います。

画面一覧

システムにどのような画面があるかをまとめて下さい。

必要な内容

名称	概要
番号	画面番号 (必要な場合枝番も記載)
分類	画面の分類 (「共通」「管理」等)
画面名	画面の名称
概要	画面の概要

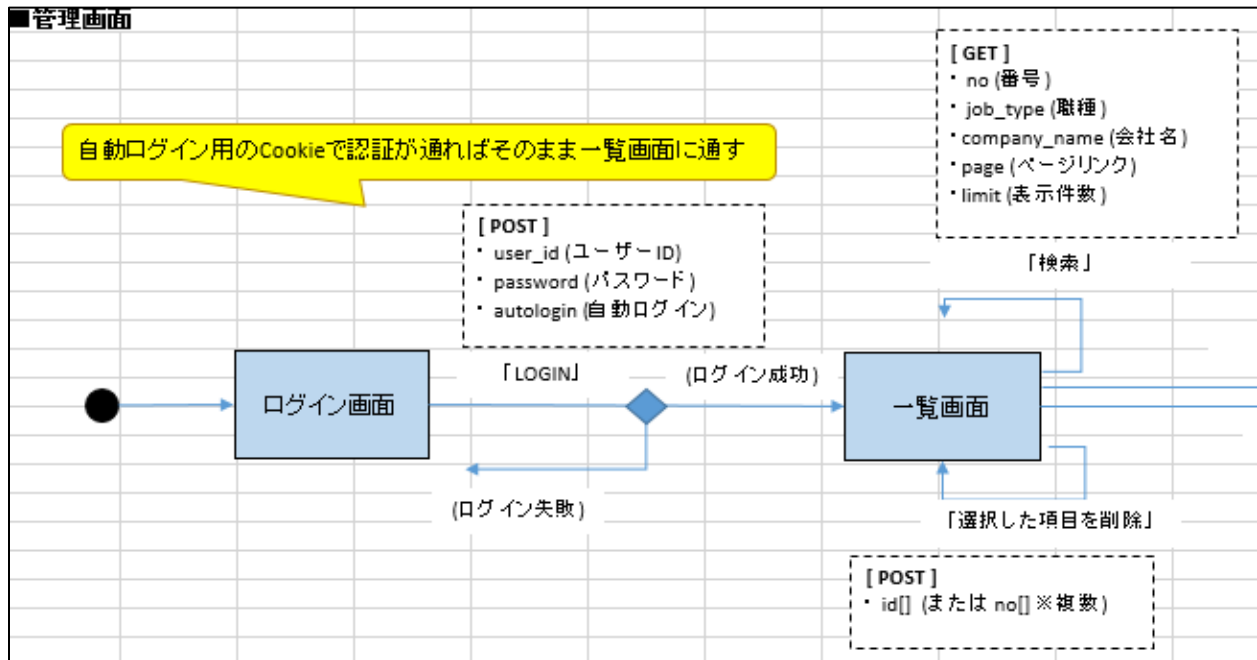
(例)

(管理)				
番号	枝番	分類	画面名	概要
006	-	管理	個人履歴画面	過去の回答の成果率等を表示する。
007	1	"	社員マスタ	社員一覧を表示する。
007	2	"	社員マスタ登録(新規・編集)	社員データの新規登録および編集を行う。
008	1	"	職場マスタ	職場マスター一覧を表示する。↓ 新規・編集画面への移動、削除を可能にする。
008	2	"	職場マスタ登録(新規・編集)	職場データの新規登録および編集を行う。
009	1	"	会社マスタ	会社マスター一覧を表示する。↓ 新規・編集画面への移動、削除を可能にする。
009	2	"	会社マスタ登録(新規・編集)	会社データの新規登録および編集を行う。
010	1	"	問題マスタ	問題一覧を表示する。↓ 新規・編集画面への移動、削除、コピー、新規問題セットの設定を可能にする。
010	2	"	問題マスタ登録(新規・編集)	問題データの新規登録および編集を行う。

画面遷移

画面間の移動をどのようにするかをまとめて下さい。

(例)



- ・ システム全体を1つの遷移図でまとめると複雑になりすぎる場合もあるため、適度に分割して下さい。
- ・ 入力パラメータを記載するとわかりやすいです。

(よく使う図形)

図形	内容
	開始位置
	画面 (○○=画面名)
	分岐
	遷移の方向 (「」の場合はボタンクリック、()の場合は処理の結果など分けし つつ矢印の上に遷移の理由を書くとわかりやすいです)

画面レイアウト

画面レイアウトは下記のいずれかで作成し、画面設計書に組み込んで下さい。

- Excel のシェイプ、枠線等
- Web システムの場合、HTML (スクリーンショット)
- Windows ソフトの場合、Visual Studio を使って配置だけ行った画面 (スクリーンショット)

早く作れそうなら HTML や Visual Studio で仮組みして画面(モックアップ)を作ってしまうほうがよいです。

お客様に実際に見せたり触ってもらったりすることもでき、イメージを掴んでもらいやすいためです。

画面レイアウトのスクリーンショット上には項目定義と対応付けできるように部品番号を振って下さい。

入力パラメータ

この画面が受け取る入力パラメータをまとめて下さい。

必要な内容

名称	概要
番号	(1 からの連番を振ってもらえばよいです)
項目名	項目名称(例: user_id) を記載します。
概要	パラメータを何に使用するかなどを記載します。
必須	入力が必要かどうか
桁数	入力・表示できる桁数
形式	入力・表示形式 (「YYYY/MM/DD」「半角英数字」「整数」等)
下限	入力できる最小の値 (数値の場合 0、日付の場合 2000/01/01 など)
上限	入力できる最大の値 (数値の場合 1000000、日付の場合 2999/12/31 など)

項目定義

画面に配置する項目がなにかわかるように、項目をまとめて下さい。

必要な内容

名称	概要
番号	画面レイアウトのどの位置にあるか対応付けできる番号 (1, 2 など)
項目名	「ログイン」
部品	部品の種類 (後述)
タブ	フォーカスの順番 (タブオーダー)
入力	入力部品かどうか
必須	入力が必要かどうか
形式	入力・表示形式 (「YYYY/MM/DD」「半角英数字」「#,##0」等)
桁数	入力・表示できる桁数
下限	入力できる最小の値 (数値の場合 0、日付の場合 2000/01/01 など)
上限	入力できる最大の値 (数値の場合 1000000、日付の場合 2999/12/31 など)
初期値	初期表示する値。 DB に関連がある場合、どのテーブル、列と関連があるか (user.name 等)

- ・ 必須、桁数等の入力制限を記載しておくこと共通入力チェック処理が作りやすくなります。
- ・ DB 関連が記載できれば記載しておくこと DB のデータの読み出し、書き込み処理が作りやすくなります。

部品の種類

種類名	概要
ラベル	文字を表示するだけの部品。
テキスト欄	文字を入力することができる部品。
数値欄	数値を入力することができる (数値以外は入力できない) テキスト欄。
日付欄	日付を入力することができる (日付以外は入力できない) テキスト欄。
プルダウン	選択肢から 1 つを選ぶことができる部品。 (文字の入力はできない)
コンボボックス	選択肢から 1 つを選ぶことができる部品。 (文字の入力も可能)
リンク	クリックすると別の画面に移動するなどの機能を持つラベル。
ラジオボタン	◎ ○ のような、選択肢の中から 1 つだけ選ぶことができる部品
チェック欄	☑ □ のような、選択肢の中から複数選ぶことができる部品。 (1 つだけ配置して ON/OFF を行う場合にも使用する)
ボタン	クリックすると処理を実行するなどの機能を持つ部品。
カラーピッカー	色を選択することができる部品。(ボタン + ピッカーダイアログ)
グラフ	棒グラフなどのグラフ部品。

(参考) 部品指定と実際に使用する部品の一般的な対応付け

種類名	HTML	.NET (C#, VB)
ラベル	通常のテキスト	Label
テキスト欄	<input type="text">	TextBox
数値欄	<input type="text">、 <input type="number">	TextBox (NumericUpDownよりはTextBoxに入力制御をかけることが多いです)
日付欄	<input type="text">、 <input type="date">、 <select>	TextBox または DateTimePicker
プルダウン	<select>	ComboBox (DropDownStyleをDropDownListにする)
コンボボックス	(使う JS ライブラリによります)	ComboBox
リンク		LinkLabel (あまり使わないです)
ラジオボタン	<input type="radio">	RadioButton
チェック欄	<input type="checkbox">	CheckBox
ボタン	<input type="submit"> または <button>	Button
カラーピッカー	(使う JS ライブラリによります) <input type="color"> と Spectrum プラグインの組み合わせが簡単だと思いま す。	Button + ColorDialog
グラフ	(使う JS ライブラリによります)	Chart

形式の例

形式	概要	表示例
全角	全角文字	あいう
半角	半角文字	1234ABCD
全半	全角・半角	あいう 0123
整数 0	整数	1234
0.0	小数点数 (.の右の0が何個あるかによって小数桁数を示す)	1234.123 の場合 → 1234.1 1234 の場合 → 1234.0
0.#	小数点数 (小数がない場合は小数を表示しない。 .の右の#が何個あるかによって小数桁数を示す)	1234.123 の場合 → 1234.1 1234 の場合 → 1234
YYYY/MM/DD	日付形式	2000/01/01
HH:MM:SS	時間形式	12:34:56
“〇〇”	固定文字 (引用符で囲んだ中の文字をそのまま出す)	
-	指定なし	

動作定義

各項目に対して動作(イベント)による処理をまとめて下さい。

必要な内容

名称	概要
番号	(連番を振ってもらえばよいです)
項目	部品の項目名 (可能なら「ユーザー名 [1] 」のように項目名と部品番号を記載してもらえるとよいです)
動作	「クリック」「切替」「入力」等
処理	どのような処理を行うか。 複雑な処理の場合は「処理定義の○○参照」と記載して処理定義に詳細を記載するとよいです。

動作の種類例

動作名	概要
クリック	部品上でマウスの左ボタンを押した
切替	プルダウン、チェックボックス等で選択を切り替えた

処理定義

画面に必要な処理をまとめて下さい。

必要な内容

名称	概要
番号	(1 からの連番を振ってもらえばよいです)
処理名	処理の名称。 (「初期表示」「入力チェック」「保存」はだいたい画面で必要になると思います)
処理	処理の内容